



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

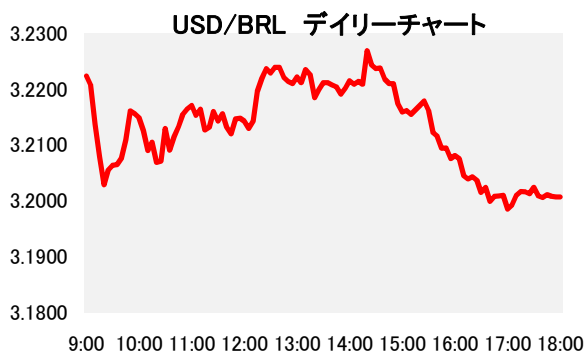
1. マーケット・レート

			8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2020	3.2060	3.2390	3.2050	3.2000	-0.0050
	BRL/JPY	Spot	31.32	31.25	30.84	31.26	31.34	+0.08
	EUR/USD	Spot	1.1277	1.1289	1.1351	1.1326	1.1321	-0.0005
	USD/JPY	Spot	100.29	100.19	99.89	100.21	100.32	+0.11
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.852	13.829	13.848	13.824	13.822	-0.002
	Future	1Year(p.a.)	13.148	13.135	13.183	13.137	13.120	-0.017
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.187	2.156	2.100	2.083	1.999	-0.084
	USD	1Year(p.a.)	2.384	2.327	2.263	2.250	2.194	-0.056
株式	Bovespa指数		58855	59324	59166	59099	57781	-1,318
CDS	CDS Brazil 5y		253.46	253.30	251.76	253.00	254.53	+1.53
商品	CRB指数		186.637	186.898	189.339	188.780	187.081	-1.70

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

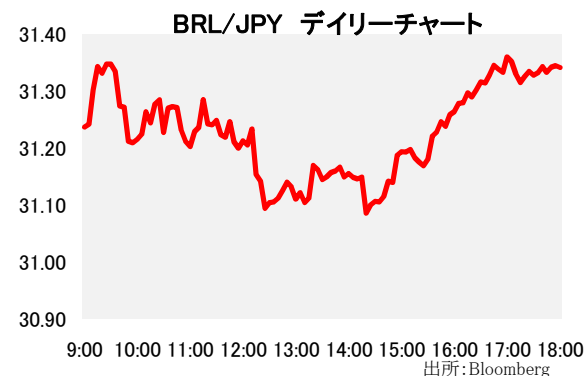
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
貿易収支(週次)	--	\$541m	\$1685m
(米)シカゴ 連銀全米活動指数	0.20	0.27	0.05



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	ブラジルは弱い為替に頼らずに、国際的に競争力を高める必要がある
----------	---------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2060で寄り付き後、伯中銀によるドル買い介入の影響を受けてレアルはやや売りが優勢となった。更にフィッシャーFRB副議長が米経済は金融当局の掲げる目標の達成に近づいていると述べたことを受けて、年内利上げの観測が強まり、ドルは対主要通貨で上昇、レアルは本日の安値となる3.2270まで下値を拡大。しかし引けにかけてメイレス伯財務相の週末のコメントが好材料となりレアルは反発、日中高値となる3.1980を付け、結局3.2000でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.20%に据え置かれ、2017年予想は+1.10%から+1.20%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は7.31%に、2016年末の予想為替レートは3.30に据え置かれた。
- 世界的な供給超過が長引く中、イラクが輸出を拡大する計画を明らかにしたほか、ナイジェリアでは武装組織が敵対行動を停止して政府と交渉する意向を示したことを受けてWTI原油先物が大幅反落した。エネルギー銘柄の下落を中心にボベスパ指数は約2%下落した。
- メイレス伯財務相は週末に報道されたインタビューで、為替はフロート制であり、輸出を促進するためにレアル安を誘導することに対して前向きな姿勢を示さなかった。更に今は経済成長を取り戻すことが最優先であるとコメントした。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。